

第3章 大人（懇談会・出向き調査）の調査結果

1. 回答属性

(1) 調査地点と回答数

アンケートの調査地点と回答数は以下のとおりであり、回答数は748件となっている。

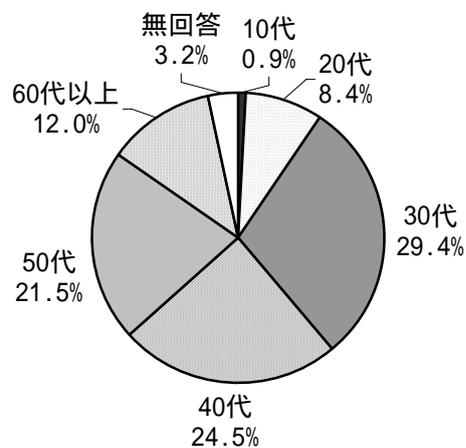
表3-1 調査地点と回答数

調査地点	回答数
少年6団体指導者(7/2 市民会館)	26 (3.5%)
青少年女性活動協会職員(7/2 市民会館)	29 (3.9%)
高校PTA(7/2 市民会館)	10 (1.3%)
主任児童委員・民生委員(7/2 市民会館)	71 (9.5%)
青少年育成委員(7/2 市民会館)	32 (4.3%)
市立幼稚園教諭(7/7 中央幼稚園)	61 (8.2%)
サポートセンター職員等(7/10 陵北中学校)	11 (1.5%)
保育所保育士・私立幼稚園教諭(7/10 陵北中学校)	97 (13.0%)
小中学校PTA(7/10 陵北中学校)	10 (1.3%)
公募大人(7/29 S T V北2条ビル会議室)	18 (2.4%)
公募小学校教師(8/2 S T V北2条ビル会議室)	23 (3.1%)
公募中・高校教師(8/2 S T V北2条ビル会議室)	7 (0.9%)
公募0～6歳の親(8/3 エルプラザ大研修室)	4 (0.5%)
公募7～12歳の親(8/3 エルプラザ大研修室)	4 (0.5%)
公募13～15歳の親(8/4 S T V北2条ビル会議室)	6 (0.8%)
公募16～18歳の親(8/4 S T V北2条ビル会議室)	6 (0.8%)
中学校硬式野球選手の親(7/31 クラブチーム専用グラウンド)	15 (2.0%)
YMCA参加者保護者(8/4 中島公園・YMCA)	4 (0.5%)
YMCA保護者発達課題(8/4 中島公園・YMCA)	12 (1.6%)
YMCA講師(8/4 中島公園・YMCA)	5 (0.7%)
ユースホステル行事主催者(8/6 中沼青少年キャンプ場)	3 (0.4%)
七夕の集い(8/7 東川下小学校体育館)	90 (12.0%)
子どもの権利条例制定市民会議委員(8/11 北海道大学)	17 (2.3%)
青少年女性活動協会行事参加者(8/21 ちえりあ)	119 (15.9%)
養護施設職員(8/21 興正学園体育館)	11 (1.5%)
養護学校に通う子の親(8/23 市立豊成養護学校)	8 (1.1%)
青少年科学館来館者(8/27 青少年科学館)	49 (6.6%)
計	748 (100.0%)

(2) 年齢

アンケート回答者の年齢構成は、図3-1のようになっている。

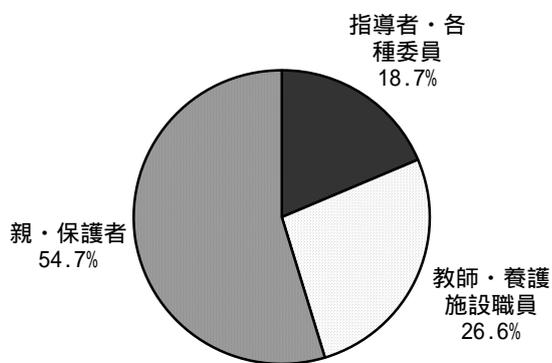
図3-1 年齢 (N=748)



(3) 職種等

職種等については、「指導者・各種委員」が18.7%、「教師・養護施設職員」が26.6%、「親・保護者」が54.7%となっている。

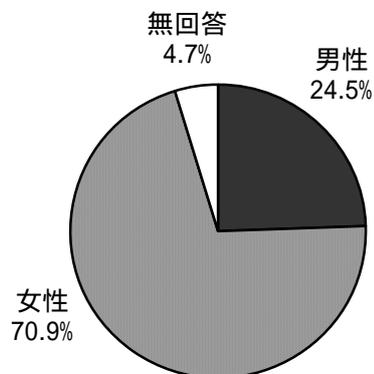
図3-2 職種等 (N=748)



(4) 性別

性別については、「男性」が24.5%、「女性」が70.9%となっている。

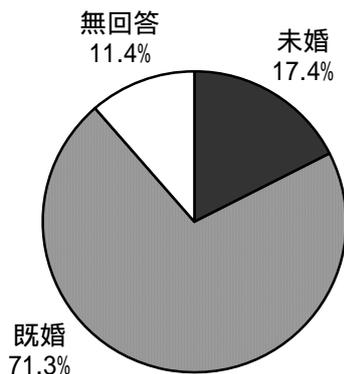
図3 - 3 性別 (N=748)



(5) 婚姻

婚姻状況については、「未婚」が17.4%、「既婚」が71.3%となっている。

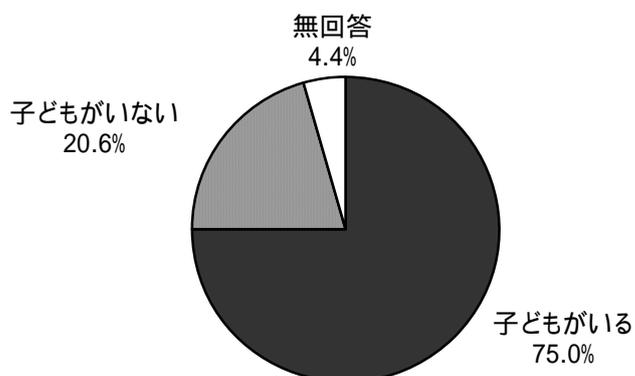
図3 - 4 婚姻 (N=748)



(6) 子どもの有無

子どもの有無については、「子どもがいる」が75.0%、「子どもがいない」が20.6%となっている。

図3 - 5 子どもの有無 (N=748)

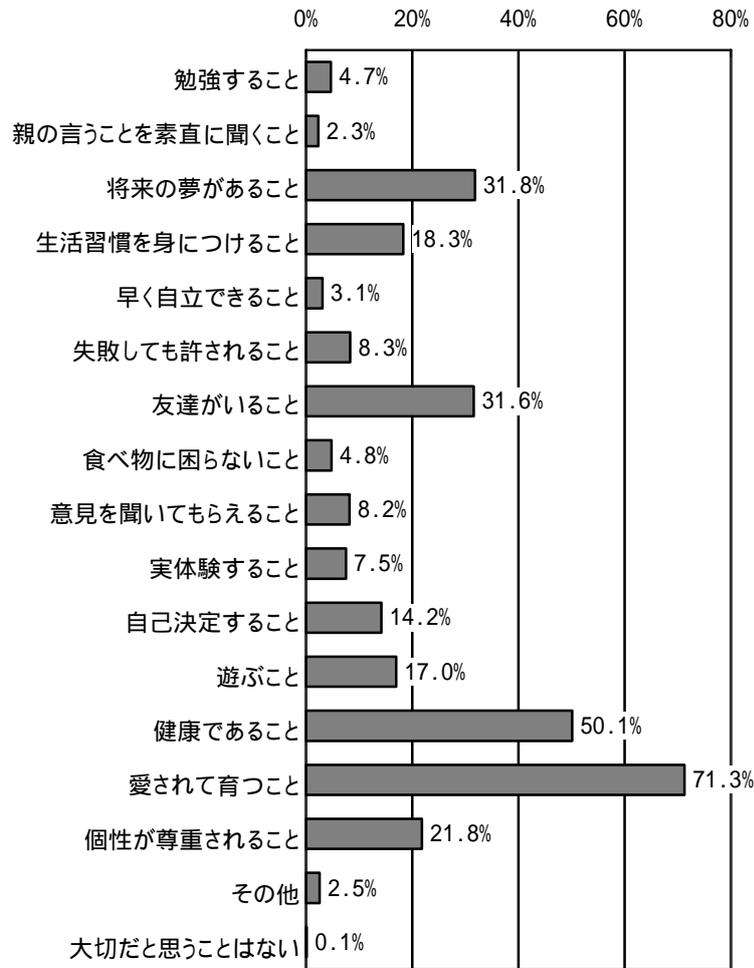


2. 子どもにとって一番大切だと思うこと

子どもにとって一番大切だと思うことをたずねたところ、「愛されて育つこと」が71.3%と最も高く、次いで「健康であること」が50.1%、「将来の夢があること」が31.8%、「友達がいること」が31.6%となっている。

図3 - 6 子どもにとって一番大切だと思うこと

(N=748、複数回答)

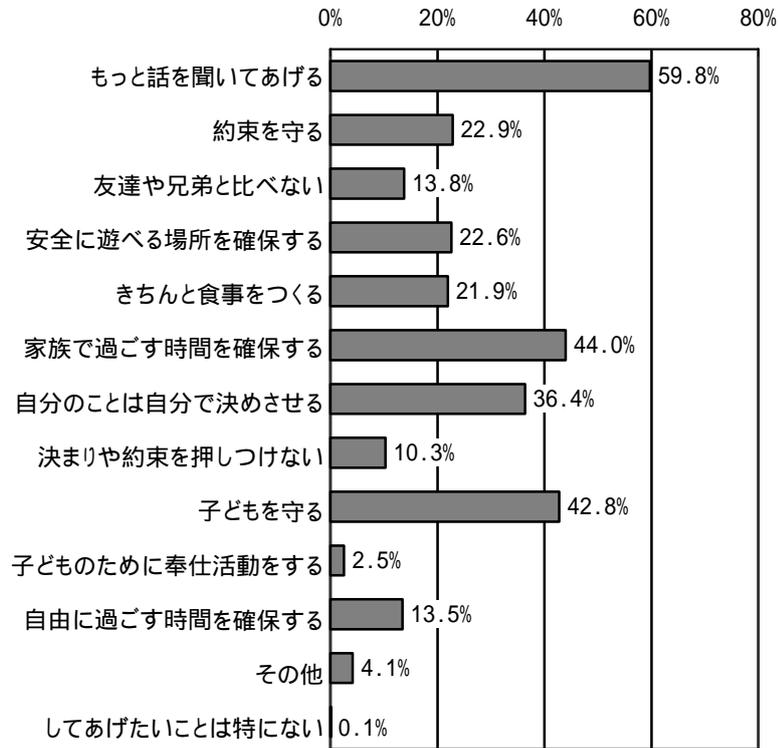


3. 子どもにしてあげたいこと

子どもにしてあげたいことをたずねたところ、「もっと話を聞いてあげる」が59.8%と最も高く、次いで「家族で過ごす時間を確保する」が44.0%、「子どもを守る」が42.8%となっている。

図3 - 7 子どもにしてあげたいこと

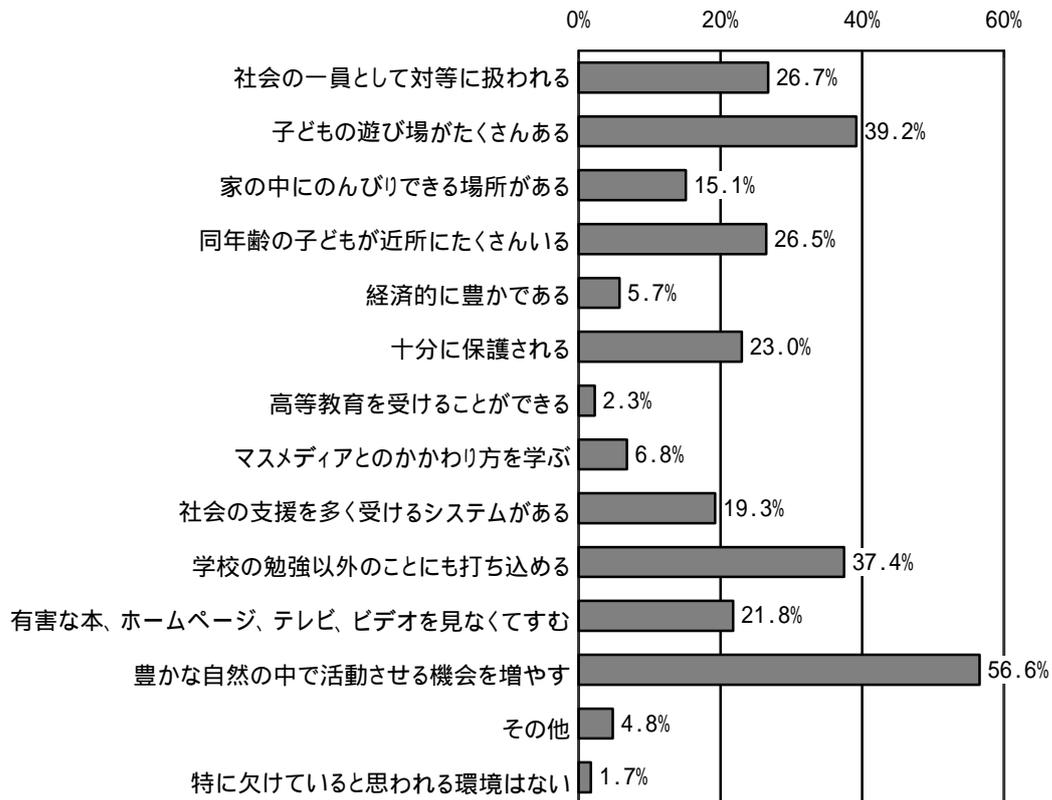
(N=748、複数回答)



4. 子どもたちに欠けていると思われる環境

子どもたちに欠けていると思われる環境についてたずねたところ、「豊かな自然の中で活動させる機会を増やす」が56.6%と最も高く、次いで「子どもの遊び場がたくさんある」が39.2%、「学校の勉強以外のことにも打ち込める」が37.4%となっている。

図3 - 8 子どもたちに欠けていると思われる環境
(N=748、複数回答)

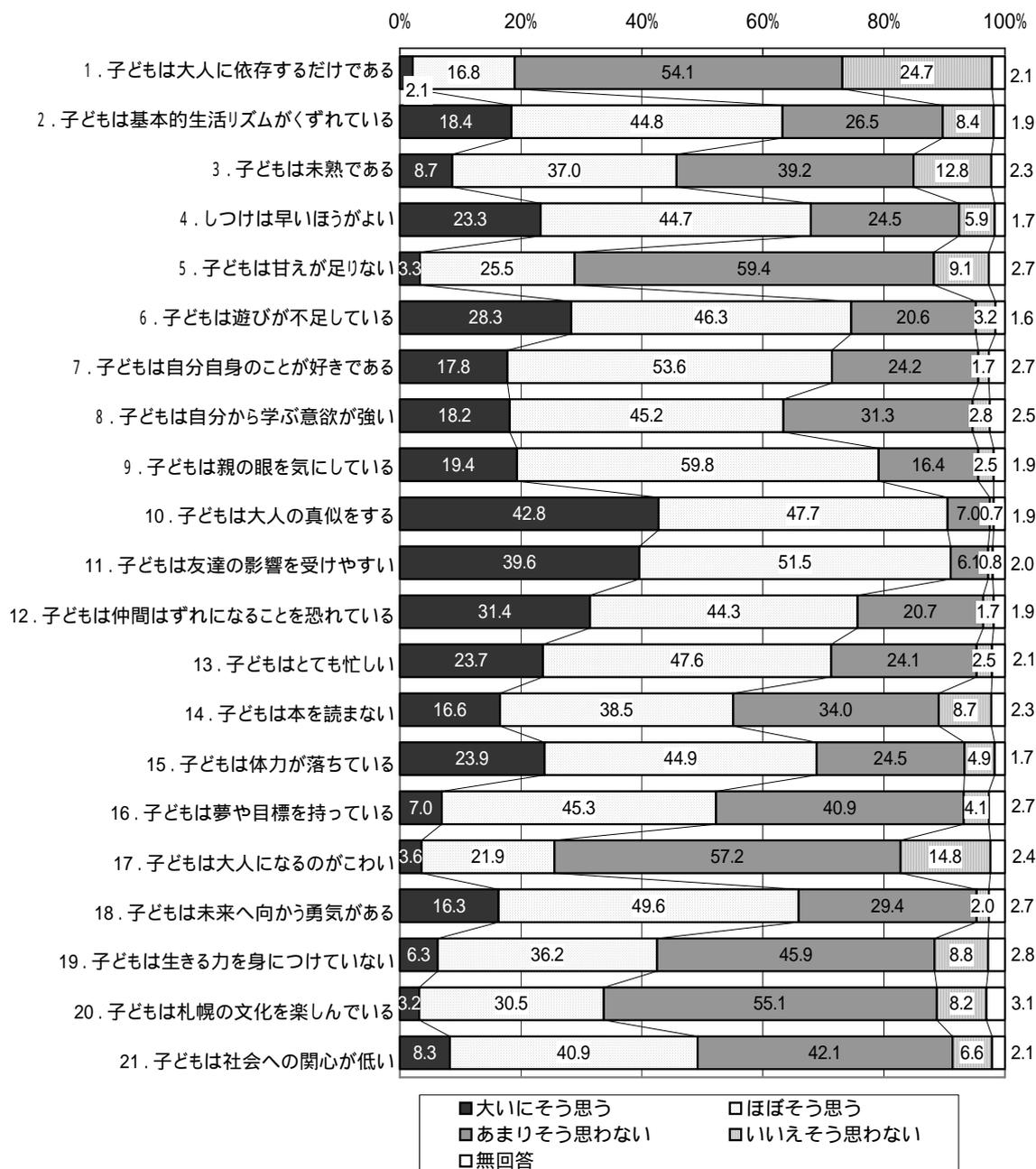


5. 現在感じている子どもの姿

(1) 現在感じている子どもの姿

現在感じている子どもの姿についてたずねたところ、「10.子どもは大人の真似をする」、「11.子どもは友達の影響を受けやすい」において、「大いにそう思う」と「ほぼそう思う」を合わせた割合がそれぞれ90.5%、91.1%と高くなっている。

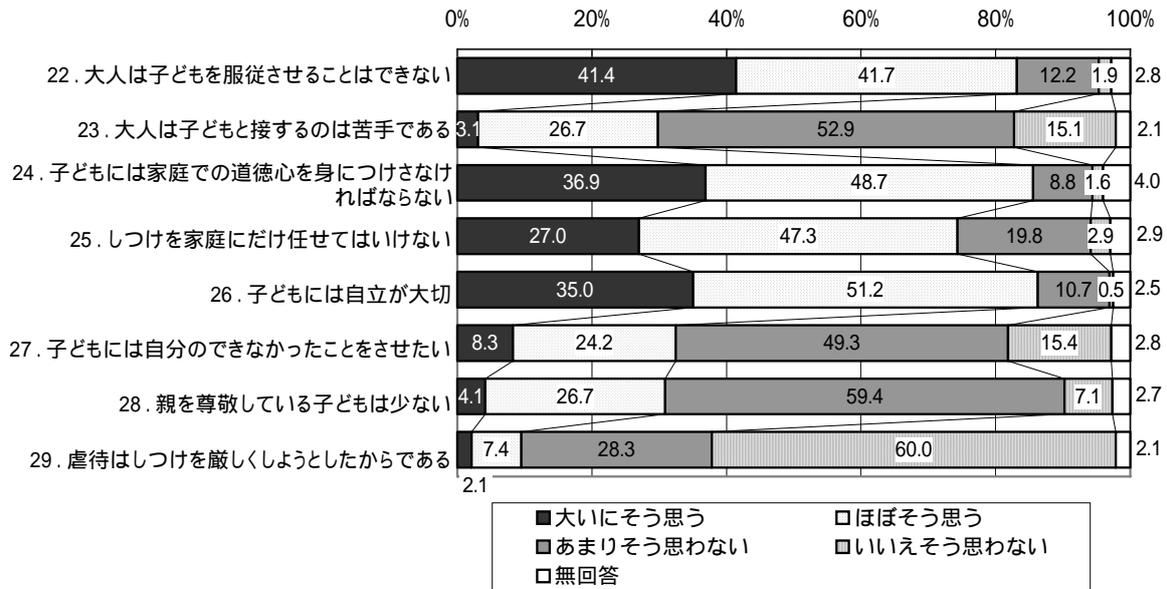
図3-9 現在感じている子どもの姿 (N=748)



(2) 子どもに関する意見について

子どもに関する意見についてどう思うかをたずねたところ、「22.大人は子どもを服従させることはできない」、「24.子どもには家庭での道徳心を身につけさせなければならない」、「26.子どもには自立が大切」において、「大いにそう思う」と「ほぼそう思う」を合わせた割合がそれぞれ83.1%、85.6%、86.2%と高くなっている。

図3 - 10 子どもに関する意見について (N=748)



6. 「子どもの権利」の認知度

「子どもの権利」を知っているかをたずねたところ、「ことばも聞いたことがあるし、内容も少し知っている」が42.6%と最も高く、次いで「ことばは聞いたことがあるが、内容は知らない」が37.7%となっている。

図3 - 11 「子どもの権利」の認知度 (N=748)

